

## 私の保育



高塚 幸子

いつもは、三歳未満児二十四名を六人の保母で保育していますが、七、八月は、学校が夏休みにはいり、兄弟が家にいたり、家族でお盆にいなかに رفتり海に行ったりで、お休みする子が多くなります。夏期保育は、プール遊びが主になり、私たちの「ひよこ組」では、七、八月の目標として、暑いときなので、これまで身につけた基本的生活習慣をくずさないよう気をつけて、のびのびと遊ぶということにしました。

八月〇日 晴れ

S子、走って登園してくる。すぐに室内のすべり台にのぼる。上のぼって、なにやらはなうたをうたっている。M子も登園してくる。入口のところで母に甘える。

Tも登園、「コカ・コーラ」と歌っている。テレビの宣伝の

歌らしい。保母と海にいった話をする。保「波がきたでしょ」「うん、てっちゃん、おどろいた」などと話す。T、だれかが持ってきたせみを、M子に見せておどろかす。M子「いや、いやーん」保「てっちゃん、やめなさい」保「よおし、てっちゃんにもやってやる」といって、Tをおどすようにすると、T「いやーん」といって泣声になる。Tは、弱虫のくせに、よくこんないじわるをする。S、二度くしゃみをする。熱をはかってみる。

皆で集まって歌をうたう。保「S子ちゃん、水でつぼうの歌うたう？」S子「うなずく。「水をたくさんくんできてー」と身ぶり、手ぶりで、口を大きく開けて歌う。上手におじぎをして席につく。

保「みーちゃん、うたう？」前に出て、保母に手伝ってもらって、手ぶりよく歌う。

保「はい、けんちゃん」というと、K、すつと立ってくる。

保「何のうたうたう？」「せみ」とめずらしく自分からいって、声を出して歌う。

次に、Sを呼ぶ。「しげちゃん、海の歌うたう？」「うん」とうなずく。S、口をうごかすだけで、すわっているS子のほうがよくおぼえていて歌う。

プール遊びをする。ビニールプールと大きいプールにはいる。

大きいプールでは、魚とりもする。プールが終わったあと、  
保母にむかって、S「プールおもしろかったよ」 S子「さか  
なもったよ」という。

Sは水をこわがり、顔にかかったりすると、泣く。皆、水に  
はいつているときは、意外とおとなしい。ビニールプールのふ  
ちにつかまって、パチャパチャと足をうごかすことができる。

給食を食べる。暑いので食欲があまりない。保母にせかされ  
て食べる。保「S子ちゃん、そのお豆食べたらメロンを入れて  
あげるよ」S子ちゃんがぼって「Tちゃん、遊んでちゃだめで  
すよ」

T、食べたくなさそうに、手をうごかしたり、からだをくね  
らせたりしている。S子、ねむくなってくる。目がとろんとす  
る。「S子ちゃん、メロン、先生がもらっちゃっていい?」S子  
ちゃん、もう少しね。がんばれ」 Kは、何をいわれてもゆっ  
くりマイペースで食べている。

トイレで、Hのパジャマのようを指さして「Hちゃんちよ  
つと。自動車だ。ぶぶぶのぶ」 H、ねむけまなこで答えな  
い。おやつの前、「あなたのおなまえは」をする。いつもおとな  
しいKが、Hを指さして「あなたのおなまえは」と歌っている。  
T、顔をこわばらせて「まるたてつろう」と大きな声でいう。  
Kは「けんちゃんです」と小さい声でいう。保母に「大きい声

で」といわれて、こんどはもう少し大きい声でいう。M子、指  
を口に入れて「やまぎきみーちゃんです」という。S子は「さ  
といえなくて、「いでおかきこです」という。

おやつのあと紙芝居をみる。最初は「ももちゃんせんせい」。  
保母、子どもたちに話しかけるようにしてやる。手を洗う場  
面では「みんな、おててを洗ってきましたか?」「Kちゃんは、  
あらってきた?」「Sちゃん?」と一人一人きく。皆、一生  
けん命見る。

終わるとすぐ、Hは「どうもありがとう」。そしてすぐに  
「もうひとつ」という。保「ないよ」というと、「そこに」と指  
さす。保「じゃあね、ちちん、ちちんぶい、というとでてく  
よ。みんなでいってみて」皆で、「ちちん、ちちんぶい」と  
いう。保「さあ、でてきました」。

「ふしぎなオルゴール」という紙芝居を見て降園。  
八月〇日 晴れ

一番はやく、めずらしく、Cちゃん登園。保母のところへと  
んでいき、だかれる。へやのすみにゴキブリがでてくると、C  
「おっかない、おっかない」といってにげる。O、ひさしぶりに  
登園。「Oちゃん、どこへ行ってきたの?」ときくと、はずか  
しそうにしている。S子、姉が休んだので、自分も帰るといっ  
て泣く。

C、絵本をよんでいる。C「ぼく、これにのったんだよ。おさるのでんちゃ」保「かずちゃん、どこでのったの」「あっちで」「うえのどうぶつえん?」「うん」。

年長組の男の子が三人やってきて、すべり台にかけのぼり、上からとびおっている。C、それをじっと見ている。しばらくしてから、やはりとんでいって、自分もやろうとする。保「小さい子は、お兄ちゃんのまねをするとけがするよ」というと、お兄ちゃんたち、一生けん命止めようとする。そして、こんどは「かめがいるぞ」というと、C、やはりそのほうへとんでいく。お兄ちゃんの仲間入りがしたいようだ。

皆で集まって、「まほうのつえ」の指遊びをする。保「けんちゃんとかずちゃんとまきちゃんとさつちゃん、上手にできましたね。前に出てやってみてください」前に出てやる。K、とっても上手にできる。次は、T子と、Tが出てやる。T子「むにゃ、むにゃ」いいながら、一生けん命指もまねてやっているが、左手と右手を同時にうごかせない。

次に、楽器遊びをする。タンブリン、すず、トライアングル。一つずつ名前を聞く、トライアングルだけがいえない。保「自分の好きな楽器を使って遊びましょう。タンブリンがいい人手をあげてごらん」などときいて、楽器を配る。I、ぼかんとしっていて、自分のほしい楽器をいわない。「ありさんのおはなし」、

「うみ」をオルガンに合わせて、たたかせる。楽器には、だいぶなれたが、リズムが合っている子は、まだいない。しかし、楽しそうにやっている。

ホールに集合して、幼児たちといっしょに、スキップをやる。Cは走っている。K、楽しそうに笑いながら、とびはねている。皆、まねをしているが、まだ、スキップはできていない。皆で、幻燈を見る。「ももたろう」と「ありときりぎりす」を、目をまるくして、真剣に見る。

昼食前の手洗い。保母が見ていないと、CもT子も、気持がいいからか、何度もせっけんをつけて洗う。保「もういいです。Cちゃん、せっけんは一度だけです」と声をかけないとやめない。

昼食後、排泄をして、パジャマに着がえ、本をよんでまわっている。K、一番おそくまでトイレに入っている。水を流す音がするので行ってみる。保「けんちゃんでのたの?」K、うなずく。保「でたら、先生って呼ばなきやだめよ。せんせいっていつてごらん」K、「せんせい」保「そうそう」K、おしりをふいてもらう。

皆、つかれているらしく、少しもさわがずぐっすり眠る。

午睡後、保「Cちゃん、くつしたはきなさい。きてごらん」C「いいよ、ぼく自分ではけるよ」といって自分ではき「ほら」

という。保「うわあ、かずちゃん、自分ではけるのね」 O、

「ぼくもはけるよ」といって、やる。M、自分で全部着ると、

「先生できたよ」という。皆、ボタンなども自分でできるようになったし、むずかしいくつ下も上手にはけるようになった。

おやつを食べて、降園。

八月〇日(土曜日) 晴れ

R子、一番はやく来ていて、とてもきげんがよい。H子、登園するとすぐに、「きょうねんねちなーの？」保「うん、ねんねしないのよ」という。K子、久しぶりの登園。きげんよく、ここにこしている。

T子、母親のあとから、指をみながらゆっくり来る。保「じゅんこちゃんおはよう」というと、指をみせながら「ありんこだよ」といい、下におちるとひろってもって行く。皆に見せてとくいそうだ。M、保母のところへきて「ぼくね、ありんこいるよ」保「どこにいるの？」M「ぼくんち」しばらくして、T子「先生、ありんこいなくなっちゃった」Oまでが「先生ありんこいないよ」といって、Mと三人で、ゆかをはいまわってさがす。

プール遊び。集まりのとき、保母が「大きいプールこわい人？」というと、K子とCが手をあげたが、はじめてはいるK子は、ビニールプールの中に立って「びちよびちよ」といいなが

ら心配そうな顔をしている。保「いいのよ。びちよびちよになっても」というと、ゆっくりすわる。途中でやはり気になって、水着をさわってみる。C、バケツにお湯をくんできて、何度も保母の足にかける。保母が「わあー」というのがおもしろいらしい。R子、コップに水を入れたり、こぼしたりして遊ぶ。保母の手の中にも、こぼしたりする。

テラスでは、甲羅干しをする。土曜日で疲れているせいか、皆おとなしくしている。大きいプールでは、保母がかめになって、その背中にのる。そのあと、浮袋を使って泳がせる。大きいプールでの練習や、海で遊んできた成果が実って、皆、浮袋をつかって、浮くことができるようになった。J子は、足をピンとのぼして、足をパチャパチャさせながら上手に浮く。ほかの子も、足がのびていないが、やはり浮くことができるようになって楽しそうだ。

給食を食べる。K、とても食欲があり、いつもより早く食べ終える。S子、K子、途中でねむくなって船をこぐ。

おやつはミルクボーロ。C、早く食べ終わっておてふきをもてあそんでいる。となりのR子に「ルミちゃん、一つちょうだいよ」R子、一つあげる。保「ルミちゃんに、ありがとうといわなきゃ」C「どうもありがとう」という。二人ともうれしそうに笑う。午後一時、降園。